

Y31c 2年目の「人類よ、宇宙人になれ」

仲野誠 (大分大学)、高橋徹 (大分高専)

学校教員の持つべき科学的素養の根幹部分にあるのがその自然観に対する姿勢であろう。その中でも宇宙に対する全体的な理解は欠かすことができないと思われる。理科の学校教科書からだけでその理解を得ることは容易ではない。しかし、一方ですでに小学校の国語の教科書において、そのような話題は提供されており、その本質的な理解には宇宙への正しい認識を持つべきであると考えられる。そこで、そのような題材として「人類よ、宇宙人になれ」(小学国語6年 ひろがる言葉;教育出版)を取り上げ、地球や宇宙というシステムを理解してもらうことを主眼にして、教員免許更新講習を行なった。

まず具体的には宇宙や地球というシステムを特徴的に示す時間や、空間のスケールの話宇宙からの視点として取り上げた。続いて、宇宙への視点として宇宙開発についての理解を深め、最後に再度宇宙からの視点として銀河系における太陽や太陽系の位置、その誕生の歴史などの現象を視聴覚教材もしくは Mataka などのコンピュータシミュレーション等のツールも活用しつつ展開した。受講生は全ての学校種の教員が含まれ、理科関連の講習の中でもユニークなものとなった。これに関連して受講生に対して行なった意見聴取、事前・事後アンケートの結果も含めて報告する。

本題材はさまざまな校種の学校教員に対して、視野を広げるものとしても非常に有効であり、特に教員免許更新講習のテーマとしてふさわしいものであることがわかった。